

Produced by KATOKI HAJIME

ZEONOGRAPHY

EXPANDED EDITION OF GUNDAM FIX FIGURATION

#3006b

MS-14ゲルググは旧連隊における新たな標準機として開発されたMSである。一部にその総合性能は「ガンダム」をも凌ぐ、適性に配備されていたが一年戦争の結果は違っていたとさえいわれている。U.C.0079年の10月にロールアウトしたこの機の先行量産型VMS-14(MS-14Bとも)は、その多くがエース部隊に配備され実戦データが収集された。しかし、その時点でビーム・ライフルを実装できた機体は少なく、急速・多目的用途やMA用のアバイスを駆動したビーム砲を備えるバシクパックなどが開発された。この装備を持つ機体は便宜上「ゲルググタイプ」または「MS-14Cゲルググキャンパン」と呼ばれ、本体にも若干の改良が施されている。特に顕著なのが頭部ユニットで、内部モジュールはほぼ同等だが、メインのモアイセンサーに加え、砲撃戦に特化したハイブリッドセンサーが追加されている。このビーム・キャンパン専用の標準装備はセミ・オートマチックで発射を規定可能であり、パイロットは機体の制御に専念できたばかりか、両腕武器の追加運用も可能であった。実際、バスター力砲を直門通行しての出撃記録も存在するほか、近接戦闘に対応するため、腕部に自走ミサイルランチャーとバックラールールが装備する機体も確認されている。同機が量産的に配備されたエース部隊が「キマイラ隊」で、標準塗装はグレーであったとされ、また「00」のナンバリングが施された機体は「トーマス・クルツ機」として紹介される場合が多い。最終機体仕様は開発に費やされていたことでも知られる同部隊は、コロセドール州領南域において輸送船団を標的とするゲリラ戦を展開していた。その際「00機」とリョニー・ライアン機とのコンビネーションは度々目撃されていたという。

MS-14C

MS-14A



キャンパンタイプから量産型・高機動型への換装が可能。ビームライフル・360mmロケットキャンパンが付属。

WHO is THOMAS KURZ

U.C.0057年、地球生まれ。初期は連邦軍に所属していたが、家族がサイヤン出身であったため、大尉の勲章を機にジオン公国に転入。入隊後は、いかにする凡人と見られる地味な戦術家として機動隊に配属される。MS-00J、MS-07Bを乗機として、中東からアフリカ方面の戦線に送り込まれる。ジオンにおけるエース部隊「キマイラ隊」配属となりMS-14Cを乗機とした、アバイスアタック部隊に加入している。

MS-14C/14A GELGOOG

PLANNING: PRINCIPALITY OF ZEON/ZEONIC
 ASSIGNMENT: PRINCIPALITY OF ZEON FORCE
 MODEL NUMBER: MS-14C
 HEIGHT: 19.5m
 HEAD HEIGHT: 19.5m
 EMPTY WEIGHT: 55.8t
 FULLY EQUIPMENT WEIGHT: 79.8t
 GENERATOR OUTPUT: 1,449kw
 PROPULSION ROCKET THRUSTERS: 79,909kg(TOTAL)
 MATERIAL: SUPER HARD STEEL ARROY
 ARMAMENTS: BEAM CANNON
 TWIN BEAM SWORD
 BEAM RIFLE
 3-TUBE MISSILE LAUNCHER
 360mm ROCKET CANNON(GIANT BAZ)
 etc

PLANNING: PRINCIPALITY OF ZEON/ZEONIC
 ASSIGNMENT: PRINCIPALITY OF ZEON FORCE
 MODEL NUMBER: MS-11(MS-14A)
 HEAD HEIGHT: 19.2m
 EMPTY WEIGHT: 42.1t
 FULLY EQUIPMENT WEIGHT: 79.3t
 GENERATOR OUTPUT: 1,449kw
 PROPULSION ROCKET THRUSTERS: 81,509kg(TOTAL)
 MATERIAL: SUPER HARD STEEL ARROY
 ARMAMENTS: TWIN BEAM SWORD
 BEAM RIFLE
 etc

DESIGN&DIRECTION Katoki Hajime

MODELING: Takahashi Nobuhiko
 FINISHING: Mizuki Takumi
 COLORING: Mizuki Takumi
 MARKING: Kanno Yuji(Jam)

PHOTOGRAPH: Takase Yuji(Takase Photo Office)
 EXPLANATION: Watanabe Yoshikira(SHINDOSHIA)
 INSTRUCTION: Takahashi Masatomo
 COMMERCIAL DESIGN: Ueno Daisuke(GABIANO)



MS-14B

